

5度くり返えす



暗夜を思わせる黒煙と強風にあおられる立木



燃えさかる三丁目(左)と中道(右)の住宅

火災発生と同時に消防自動車が現地に到着したが(午前11時20分)火は強風にあおられながら、さかんに燃えていた。消防車は必死の消火活動を行なったが火勢は強まるばかり、黒煙の間をぬって真赤な炎が横ぐりに家々に侵入していく様は「火は恐ろしい」ということを如実に物語っていた。

火はますますその勢を増し、あっという間に商店街に燃え移り、大火の状態になってきたので、消防本部ではつぎの応援の要請を發した。

- 11時40分——大館管下消防機関
- 11時50分——北秋各消防機関
- 12時30分——県消防課

管外からの応援消防隊は能代市(3台)弘前市(指令車)鷹巣(3台)十和田町(2台)比内町(2台)田代町(3台)花輪町、合川町、阿仁町、小坂町、上小阿仁村、ニツ井町、藤里町、碓ヶ関村の計22台それに、本市のタンク車など26台 あわせて48台の機動力を發揮して消火 延焼防止活動にあたったが、火災発生と同時に増した風速等から、猛火は2丁目一帯をほとんど焼きつくし、午後2時30分ころ、ようやく衰えをみせはじめた。

〈全機能をあげての救援〉

一方、市役所では火災と同時に、全職員に待機命令を發し、市長を本部長とする「災害対策本部」を設置(12時30分)するとともに、第一生命大館支店に現地連絡所、有浦小学校に現地救護所を設置して、被災者に対する援助措置や被災者の実態調査にあたる一方、罹災者のうち避難先のない方を有浦小学校に収容して、災害救助法による物資、食糧などの配分を行なった。

大火を知った県側でも、同日午後4時、市役所に「災害対策本部」を設置して活動を開始する一方、小畑県知事も急ぎ県庁から来市して、燃えさかる現場に到着、直ちに市の対策本部と救援対策を協議した。

〈心強かった救援隊〉

そして、知事は直ちに「災害救助法」を發令すると

もに、陸上...
ところが、
に参加中...
部隊に連絡...
尉...行が...
よく13...
着と同時に...
一方、秋...
12日夜1...
13日午後...
揮するとど...
力をあげて...
とにかく、
焼あとの整...
ちろん、私...
さらに、火...
りを發弾し...
東北電力、...
たい。

〈救援物資〉
テレビ...
暖かい救援...
そのため、
「善意の山...
つきからつ...
とです。
暖い手を...
広報紙に掲...
しあたりこ...
る次第です...
●災そし...
環はこのた...
そのため...
心をもっと...
ないよう、

《救援隊の活躍ぶり》

自衛隊↓



←燃える製材所と木材

